

灰形を 知る・学ぶ



茶室・書院 松籟庵では、今回、茶道のお点前に欠かせない風炉の灰形作りの講習会を開催いたします。茶道をなさっている方はもちろん、茶道をなさっていない方もご興味がありましたらどうぞご参加ください。

季節が春から夏へと変わるとき、席中の「炉」を塞ぎ、「風炉」を用いて客人に対して「釜」を遠ざけるとともに「炭や炭火」を隠すことで体感からも視覚からも暑さを和らげます。風炉に入れる灰は風炉の形・材質などに合わせて作られ、湯が沸くように火の気を盛んにするだけでなく、風炉の茶の湯の風趣としての役割もになっています。

イベント名：茶道「灰形教室」

- 【内容】
- お話（灰形の基本、風炉と敷板の種類と切り方、灰作り、火入れの灰など）
 - 実演（灰の切り方）
 - 抹茶と菓子の一服付き

※当日は先生が実演なさるのを拝見しますが、灰を入れた風炉とお道具一式をご持参の方は教わりながら実際に仕上げさせていただきます



会場：茅ヶ崎市 茶室・書院 松籟庵

日時：令和4年7月7日(木) 9:30~12:00

参加費：1,500円

対象：茶道経験がなくても興味のある方でしたらどなたでも

講師：茶道裏千家 準教授 慶應大学非常勤講師 同志社大学特講演習講師
加藤宗貴先生

主催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

お申込み：令和4年6月12日(日)10:00 お電話にて受付開始

〈事前申込制・先着順〉 (定員に達し次第受付終了とさせていただきます。)

お申込み・お問合せ先：^{しょうらいあん} 松籟庵 電話 0467-87-5258



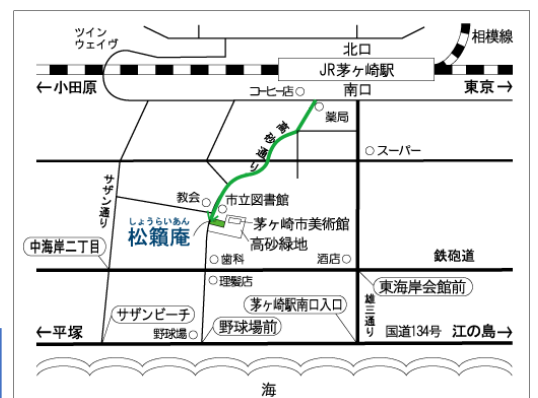
松籟庵HPはこちら

JR 茅ヶ崎駅から南へ約200メートル、静かな住宅街の中にひときわ背の高い松の木立が広がる緑豊かな「高砂(たかすな)緑地」内、日本庭園の一角に点てられた茶室が「松籟庵(しょうらいあん)」です。松籟庵は京都にある裏千家の代表的な茶室である「又隠(ゆういん 国指定重要文化財)」と表千家不審庵「松風楼(しょうふうろう)」を写した建物が渡り廊下で結ばれており、茶会や文化および教養活動のために施設の貸し出しを行っています。

場所 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1丁目4番50号

開館時間 午前9時~午後4時30分

休館日 月曜日(月曜が休日は開館し翌日休館)、12月29日~1月3日



JR 茅ヶ崎駅南口より徒歩 8 分
市立図書館隣 高砂緑地内